

「江戸川女子高等学校の生徒を対象とした高校生における麻しん抗体量の経年推移と
ワクチン接種履歴との関連」に関する研究のお知らせ

ご挨拶

卒業生の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、2009 年度から 2024 年度に卒業されました皆様に、調査研究のためのご協力をお願いする次第です。本校に在籍中に麻疹抗体検査を実施し、海外への研修や修学旅行では英文の検査結果票を持参していただきました。これまでの検査データは本校でも保管しており、年度毎の抗体値を掌握しております。2007 年実施のデータでは抗体値では抗体なしと分類された方が約 35%と高く、予防接種を必要とする方が多くいました。国が中学 1 年生及び高校 3 年生の MR 無料接種を 5 年間実施したことにより抗体不足者は激減し、約 3%程度にまで減少した時期がありましたが、年を重ねるごとに抗体不足者が増加しており、最近の 5 年ほどを見ても 13～16%程度の方が抗体なしと判断されるようになりました。

今回、聖路加国際大学の公衆衛生学研究科で研究をされております大西先生と看護学研究科で研究をしておられます浦口先生(本校旧養護教諭)により 18 年間の麻疹抗体値の推移と分析をお願いし、今後の本校並びに日本での麻疹に対する取り組みに関しまして提言をいただく、ご協力をいただくことになりました。

※本研究は聖路加国際大学倫理審査委員会において承認された研究となります。

皆様には、今回の研究が日本の予防医学の観点からも有意義なものとなりますので、皆様の在校当時の抗体値を統計的に利用することをご許可いただきたく、学校としてお願いする次第です。

2025 年 10 月 29 日

江戸川女子高等学校

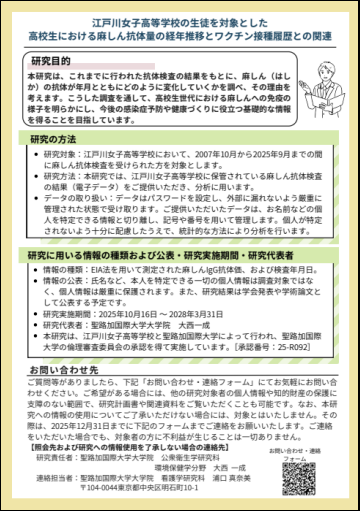
校長 菊池今次

本研究は、カナダ修学旅行や語学研修に向けて、4 年生の時に実施された麻しん抗体検査の結果を活用し、ワクチン接種歴との関連を明らかにすることを目的としています。

この研究を通じて、将来の感染症流行を防ぐための科学的知見を得て、国際的な公衆衛生への貢献を目指します。

これまでに実施された抗体検査のデータの一部を研究目的で使用するにあたり、以下のとおりお知らせいたします。

詳細は、下記の PDF 資料をご覧ください。



【在校生の方へ】アンケート調査(オプトイン)について

在校生を対象に、麻しんワクチンの接種歴(保護者)、感染対策行動(生徒)などに関するアンケートを配布しております。

調査へのご協力をいただける場合は、同封の同意書に署名のうえ、アンケート回答用紙とともにご提出ください(オプトイン)。

【在校生・卒業生の方へ】採取済み抗体検査データの研究利用(オプトアウト)について

在校生およびすでに卒業された方の採取済みの抗体検査データにつきましては、特にお申し出がない場合、同意をいただいたものとして研究に使用させていただきます(オプトアウト)。

【用語の補足】

- ・オプトイン(opt-in):同意書に署名して参加の意思を示す方法です。
- ・オプトアウト(opt-out):特にお申し出がない場合、同意を得たものとしてデータを研究に使用させていただく方法です。
- ・研究に関するお知らせに記載のとおり、抗体検査は EIA 法(酵素免疫測定法)によって行われました。EIA 法は、少量の血液を用いて、麻しん(はしか)に対する抗体の有無や量を調べる一般的な検査方法であり、抗体がウイルスの一部に結合する性質を利用し、色の変化を機械で読み取り数値化します。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

江戸川女子高等学校

研究代表者:聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科 大西一成

看護学研究科 浦口真奈美

聖路加国際大学倫理審査委員会 [承認番号:25-R092]